

Ⅱ 再発防止策について

弊社と致しましては、今後このような事態を惹き起こすことのないよう、事故原因調査結果及び事故調査委員会からのご指摘事項を踏まえ、以下の安全対策を早急に実施してまいります。

また、これらの安全対策については、その内容に応じて、鹿島事業所内全プラント、また全社への水平展開を可及的速やかに図ってまいります。

(1) 設備の安全措置

今後発災炉の復旧を行うに当たっては、A0V について、既存炉と同形式弁への変更や、既設炉と同様に操作スイッチの保護及び隔離、駆動用空気元弁の近接化などの対策を実施します。

また、A0V 操作前後における都度の駆動用空気元弁の開閉操作及び脱圧については、事業所内全プラントにおいて基準類に明記しました。

(2) 安全管理面の対策

鹿島事業所では、事故調査委員会からのご指摘に基づき、リスクの評価、把握、対策等のリスク管理を強化するとともに、安全の基盤となるヒヤリ・ハットや危険予知活動など安全管理の基本を地道に積み重ねることにより、保安レベルの向上を図ってまいります。

当該グループ内での意思伝達の仕組みが十分に機能していなかった反省を踏まえ、事業所内各グループ各担当間における相互連絡の徹底、工事立会者による確実な安全措置の実施確認がなされるよう、既存規則・基準類についての総点検を行い、確認・周知方法・手段の不備や不明瞭な箇所を変更して、工事安全確認手順の明確化を図ります。また、新設設備については運転前の事前確認に加え、運転後においても実施されている作業や工事の現地での安全確認及びその対策実施を徹底することとしました。

また、これらの安全対策が確実に実行されるよう、関係者全員を対象とした教育を繰り返し実施いたします。

(3) 発火に対する安全措置

現時点では発火原因の特定に至っておりませんが、稼働中のプラントの設備開放工事近接場所では火気工事を実施しないように基準化を行いました。

協力会社を含めた作業員に対する静電気教育の充実を図るとともに、稼働中のプラントにおける設備開放工事での静電靴着用を徹底します。

また、可燃性物質の発火源になり得る高温部断熱の維持状況について定期的な点検を実施します。

(4) 被害拡大を防止する安全措置

万が一発災した場合でもその被害が拡大することのないよう、指定作業時

における近接箇所の立入制限措置、工事着手前の避難経路確認や異常発生時の早期通報システム構築などの対策を実施しております。

また、発災時における近隣住民の方々、場内協力会社、コンビニート各社への避難の要否に関する情報を迅速に提供できる通報体制を整備するとともに、それが確実に実行できるよう関係機関との定期的な訓練を実施します。

(5) 安全文化構築への取り組み

鹿島事業所では従来から、安全管理システムの強化を図るとともに、所属員全員の危険に対する感性の向上に努めてまいりましたが、今回、このような重大事故を発生させてしまいました。事故の原因究明を通じて浮かび上がってきたのは、事業所長が繰り返し伝えてきた安全に対する思いや方針が第一線まで浸透していなかったこと、さらに各人に対する「なぜ、そうしなければならないのか (Know-Why)」という教育の不足と、現場に潜む危険を察知する感性とそれを直ちに是正するための仕組みが不十分であったこと、などであり、その根底には安全を重視する風土や文化が事業所の隅々まで十分に形成できていなかったことが挙げられます。また、事故調査委員会からは、慣習を重視し基準を軽視する風土、安全に関する感性不足など組織・人の問題点も改善すべきとの指摘を受けております。

鹿島事業所では、これらの反省を踏まえ、従来からの安全に対する取り組みに加え、今後、外部有識者の意見を積極的に取り入れ、地域の文化に根ざした安全文化の醸成を図ってまいります。具体的には「現地・現物・現象（三現主義）」の実践、Know-Why教育と行うべき行動の基準化、そして不具合を感知し、提案し、是正する運用の徹底により、現場力の強化、安全意識の更なる改革・向上に努めてまいります。特に、協力会社の方々との密接不可分な日常のコミュニケーションの重要性を認識しており、協力会社の方々と共に、安全確保の立案などの仕組みを構築するとともに改めて安全の基本である清掃、挨拶、指差呼称（SAY100運動）を徹底することにより、安全を第一義とする風土・文化の事業所全域での確立と定着を図ってまいります。

この安全風土・文化の確立と定着のため、その推進と浸透の確認を担う新たな組織として、安全文化推進室を事業所内に設置いたしました。また、今回の事故の反省と殉職された方々の鎮魂のため「安全祈念日」（毎月21日）を設けるとともに、「安全のモニュメント」を建立し、事故の教訓を決して風化させないとの決意を表すことと致します。

以上